

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第7週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は2,059人(定点あたり49.8)で、前週比94%と減少した。

前週に比べ増加した主な疾患は流行性耳下腺炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

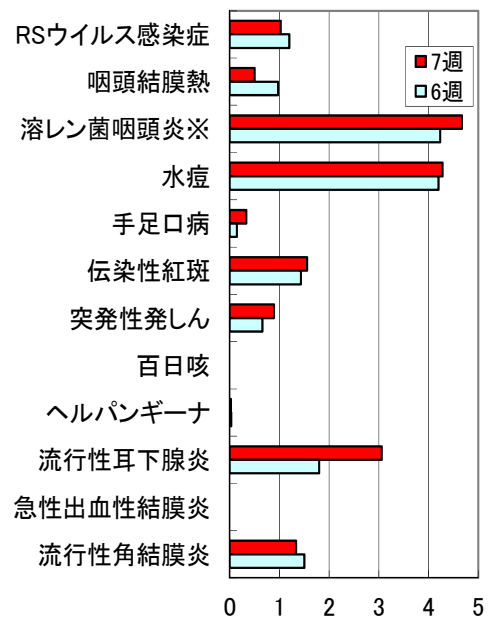
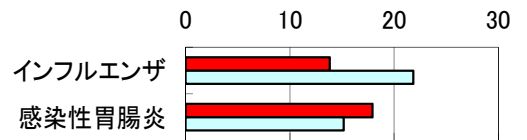
流行性耳下腺炎の報告数は110人(3.1)で前週比170%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(1.3)の約2.3倍と多い。日南(18.0)保健所からの報告が多く、年齢別では2歳から5歳で全体の約7割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は645人(17.9)で前週比118%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(15.1)の約1.2倍である。延岡(36.3)、小林(21.3)、日南(21.0)保健所からの報告が多く、警報レベルを超えている。年齢別では1歳から3歳で全体の約4割を占めた。

インフルエンザの報告数は815人(13.8)で前週比63%と減少した。宮崎市(18.4)、延岡(15.9)、日向(15.8)保健所からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の44%、6-9歳が26%、10-14歳が12%、15-19歳が2%、20-50歳代が14%、60歳以上が2%を占めた。

マイコプラズマ肺炎3人が延岡保健所から報告された。患者は1歳と2歳の男児、5歳の女児で原因菌はいずれも *Mycoplasma pneumoniae* であった。

《前週との比較》



定点あたり報告数
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4.7	日南(11.0)、延岡(10.8)、中央(8.0)	4歳~8歳で全体の約7割を占めた。
感染性胃腸炎	20	17.9	延岡(36.3)、小林(21.3)、日南(21.0)	1歳~3歳で全体の約4割を占めた。
水痘	7	4.3	高鍋(7.0)	1歳~3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	1.6	中央(6.0)、高鍋(3.5)、宮崎市(2.4)、高千穂(2.0)	2歳~5歳で全体の約6割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	3.1	日南(18.0)	2歳から5歳で全体の約7割を占めた。

□ 感染性胃腸炎の集団発生（平成23年2月14日～平成23年2月20日まで）

保健所名	施設の種別	件数
小林	老人福祉関係施設	1

■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

□ ウイルス（平成23年2月8日～平成23年2月21日までに検出）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床症状	材料	検出日
インフルエンザAH1pdm型	7M	男	2.2	インフルエンザ、咳、鼻汁、咽頭発赤、	鼻汁	2.8
インフルエンザB型	5	男	2.3	インフルエンザ、39.3℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH3型	8	男	2.4	インフルエンザ、38.3℃、上気道炎、下痢、胃腸炎、嘔気・嘔吐	咽頭ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH3型	85	女	1.31	インフルエンザ、37.3℃、咳	鼻腔ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH1pdm型	39	女	2.2	インフルエンザ、38.3℃	鼻腔ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH1pdm型	56	男	2.3	インフルエンザ、39.6℃、関節痛、鼻汁	鼻腔ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH1pdm型	34	女	2.3	インフルエンザ、37.2℃、咽頭炎	鼻腔ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH1pdm型	37	男	2.3	インフルエンザ、38.9℃、咳、痰	鼻汁	2.8
インフルエンザAH3型	23	女	2.3	インフルエンザ、39.0℃、関節痛、咽頭炎、咽頭痛、咳	鼻汁	2.8
インフルエンザAH1pdm型	74	女	2.3	インフルエンザ、38.6℃、鼻汁、咳嗽	鼻腔ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH1pdm型	22	男	2.4	インフルエンザ、37.5℃	鼻汁	2.8
インフルエンザAH1pdm型	5	男	2.5	インフルエンザ、39.1℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2.8
インフルエンザAH3型	5	女	2.8	インフルエンザ、39.3℃、上気道炎、咽頭痛	咽頭ぬぐい液	2.10
インフルエンザAH1pdm型	8	男	2.7	インフルエンザ、38.8℃、咽頭炎	鼻汁	2.10
インフルエンザAH3型	5	男	2.8	インフルエンザ、38.5℃、上気道炎	咽頭ぬぐい液	2.10
インフルエンザAH3型	79	女	2.7	インフルエンザ、38℃、上気道炎、咽頭痛、咳嗽、鼻汁、全身倦怠感、頭痛	鼻腔ぬぐい液	2.15
インフルエンザAH3型	19	女	2.9	インフルエンザ、39.8℃、咽頭痛、咳嗽、鼻水、頭痛	鼻腔ぬぐい液	2.15
インフルエンザAH3型	4	女	2.3	インフルエンザ、38.9℃、上気道炎	鼻汁	2.15
インフルエンザはリアルタイムPCR法で検出						

○インフルエンザの患者からインフルエンザAH1pdm(新型)9例、インフルエンザAH3(A香港型)8例、インフルエンザB1例が検出された。全国的にインフルエンザの報告数は2月から減少しており、県内の検出状況をみるとA香港型の割合が増加してきている。

□ 細菌（平成23年2月8日～平成23年2月21日までに検出）

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5～9	男	2011.1.21	スタックカート(+)、レプリーゼ(-)**	鼻汁	2011.2.16
腸管出血性大腸菌(O111:HNM, VT1,2)	0～4	女	2011.2.1	下痢、血便、腹痛	便	2011.2.15
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	0～4	男	2011.2.10	発熱(38.4℃)、下痢、血便、嘔吐	便	2011.2.18
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5～9	男	2011.2.11	発熱(39℃)、下痢、血便、嘔気、嘔吐	便	2011.2.18
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0～4	男	2011.2.8	発熱(37.2℃)、咳嗽	鼻汁	2011.2.8
腸管出血性大腸菌(O111:HNM, VT1,2)	40代前半	女	2011.2.4	無症状	便	2011.2.17
腸管出血性大腸菌(O111:HNM, VT1,2)	5～9	女	2011.2.5	腹痛	便	2011.2.17

※ スタックカート:連続した「コン・コン・コン・・・」という短い咳
レプリーゼ :スタックカートの後の「ヒュー」という吸い込み発作

○百日咳の発生が、県北で、昨年11月より続いており、今回も2名から菌が検出された。1名はLamp法・PCR法・培養の3方法で陽性、他の1名はLamp法のみ陽性であった。

○今年になって初めて、腸管出血性大腸菌が検出された。この事例は、家族内発生であるが、感染経路は不明である。本疾患は、これから暖かくなると発生しやすくなるので注意が必要である。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が宮崎市 (2 例)、都城・日南・高千穂・日向 (各 1 例) 保健所から報告された。
 - 《宮崎市保健所》・80 歳代の女性で結核性胸膜炎。咳、痰、発熱がみられた。
 - ・60 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱がみられた。
 - 《都城保健所》・30 歳代の男性で頸部リンパ節結核。頸部リンパ節腫大がみられた。
 - 《日南保健所》・70 歳代の女性で肺結核。
 - 《高千穂保健所》・60 歳代の女性で無症状病原体保有者。
 - 《日向保健所》・70 歳代の男性で結核性胸膜炎。咳、痰がみられた。
- 3 類感染症 : 報告なし。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 急性脳炎 1 例が宮崎市保健所から報告された。5 歳の男児で病原体は R S V 疑い。発熱、痙攣、意識障害がみられた。

■ 全国第 6 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 37.0 で、前週比 81% と減少した。特に増加した疾患はなかった。減少した主な疾患はインフルエンザと R S ウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は 106,077 人 (21.5) で、前週比 74% と減少した。愛知県 (37.0)、富山県 (32.6)、福岡県 (31.8) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 30%、6-9 歳が 27%、10-14 歳が 16%、15-19 歳が 3%、20-50 歳代が 21%、60 歳以上が 3% を占めた。

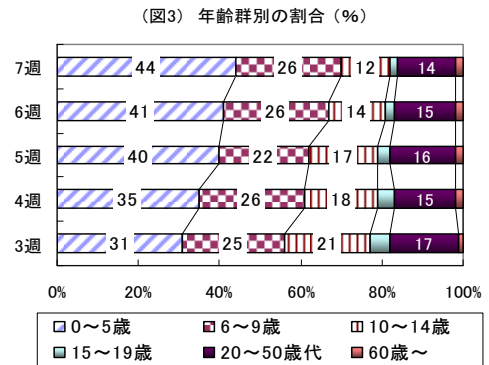
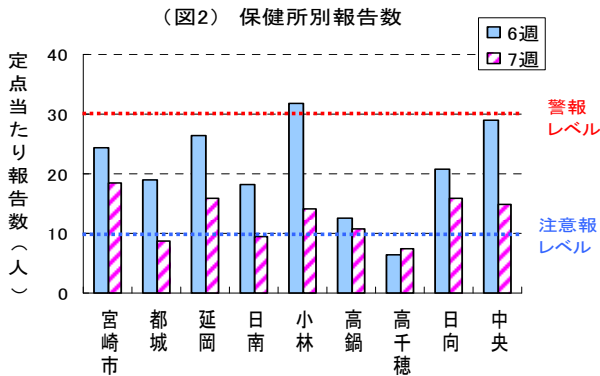
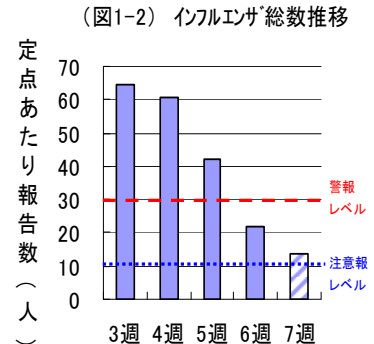
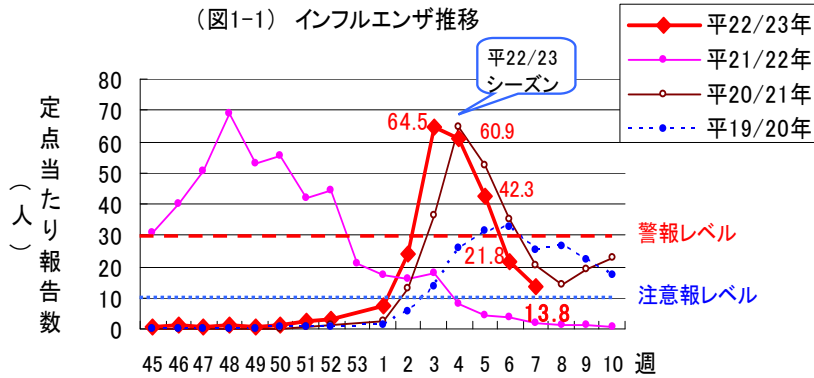
□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 274 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 4 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 1 例、A 型肝炎 6 例、コクシジオイデス症 1 例、チクングニア熱 1 例、つつが虫病 3 例、デング熱 2 例、マラリア 1 例、レジオネラ症 6 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 8 例、急性脳炎 7 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 23 例、ジアルジア症 2 例、梅毒 5 例、風疹 2 例、麻しん 14 例

■ インフルエンザ情報 《県内第7週、全国第6週（再掲）》

□ 県内第7週インフルエンザ発生動向

平成23年2月14日～2月20日までの1週間で815人（定点あたり13.8）の報告があり、前週に比べ63%と減少した（図1-1,2）。宮崎市（18.4）・延岡（15.9）・日向（15.8）保健所からの報告数が多い（図2）。年齢別では5歳以下が全体の44%、6-9歳が26%、10-14歳が12%、15-19歳が2%、20-50歳代が14%、60歳以上が2%を占めた（図3）。



インフルエンザ 警報・注意報レベル状況

インフルエンザの定点あたり報告数と警報・注意報レベル発生状況

○: 警報レベル、△: 注意報レベル、- 警報・注意報レベルなし

保健所	今週 (第7週)		1週前 (第6週)		2週前 (第5週)		3週前 (第4週)		4週前 (第3週)		5週前 (第2週)	
	2/14~2/20		2/7~2/13		1/31~2/6		1/24~1/30		1/17~1/23		1/3~1/9	
	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況	定点	状況
宮崎市	18.4	△	24.4	△	38.6	○	50.0	○	60.6	○	17.6	△
都城	8.7	-	19.0	△	41.8	○	64.5	○	78.1	○	36.9	○
延岡	15.9	△	26.3	△	66.1	○	104.1	○	105.9	○	45.3	○
日南	9.4	-	18.2	△	31.0	○	65.4	○	68.2	○	29.4	△
小林	14.2	△	31.8	○	46.2	○	75.2	○	71.4	○	23.8	△
高鍋	10.7	△	12.7	△	32.8	○	45.7	○	48.2	○	16.5	△
高千穂	7.5	-	6.5	-	22.5	△	30.0	○	15.5	△	8.5	-
日向	15.8	△	20.8	△	42.3	○	42.2	○	28.0	△	8.2	-
中央	15.0	△	29.0	△	57.0	○	64.0	○	64.0	○	11.0	△

□ 全国第6週インフルエンザ発生動向

平成23年2月7日～2月13日までの1週間で106,077人（21.5）の報告があり、前週比74%と減少した。愛知県（37.0）、富山県（32.6）、福岡県（31.8）からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の30%、6-9歳が27%、10-14歳が16%、15-19歳が3%、20-50歳代が21%、60歳以上が3%を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向 <1月>

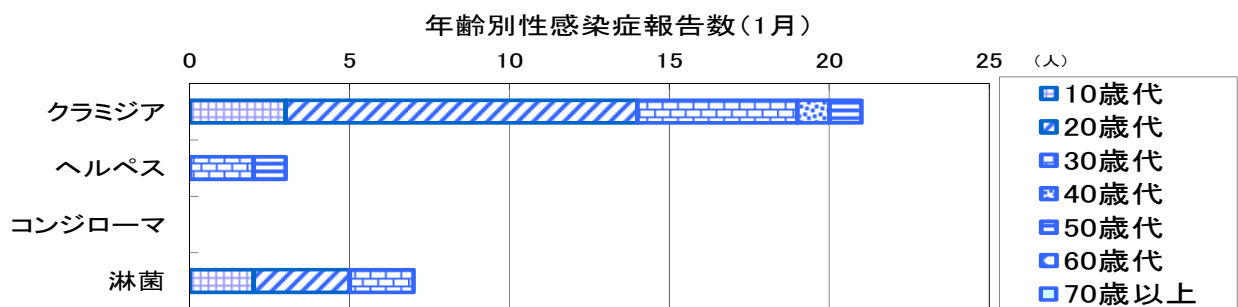
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は31人（2.4）で、前月比76%と減少した。昨年1月（3.5）の約7割であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月と同数、前年の約7割であった。日向（3.0）、都城（2.5）保健所からの報告が多く、男性9人・女性12人で、20歳代が全体の約半数、30歳代が約2割を占めた。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人（0.23）で、前月の約3割、前年の約半数であった。男性2人・女性1人で、30歳代が2人、50歳代が1人であった。
- 尖圭コンジローマ：報告はなかった。
- 淋菌感染症：報告数7人（0.54）で、前月の約1.4倍、前年とほぼ同数であった。男性4人・女性3人で、10歳代・30歳代が2人、20歳代が3人であった。



【全国】 定点医療機関総数：962

定点医療機関からの報告総数は4,069人（4.2）で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,118人（2.2）で前月比110%、性器ヘルペスウイルス感染症616人（0.64）で前月比88%、尖圭コンジローマ449人（0.47）で前月比121%、淋菌感染症886人（0.92）で前月比111%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は36人（5.1）で前月比144%と増加した。また昨年1月（6.4）の約8割であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数27人（3.9）で、前月の約1.4倍、前年の約9割であった。日南（8.0）、延岡（7.0）、高鍋（6.0）保健所からの報告が多く、70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数9人（1.3）で、前月の約1.8倍、前年の約6割であった。宮崎市（7.0）保健所からの報告が多く、10歳未満が全体の約6割を占めた。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：469

定点医療機関からの報告総数は2,356人（5.0）で、前月比99%とほぼ同数であった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,868人（4.0）で前月比105%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症441人（0.94）で前月比79%、薬剤耐性緑膿菌感染症47人（0.1）で前月とほぼ同数であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第07週(02月14日～02月20日)

疾病名		第6週	第7週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	1267	815	295	87	111	47	71	64	15	95	30
	定点あたり	21.84	13.81	18.44	8.70	15.86	9.40	14.20	10.67	7.50	15.83	15.00
RSウイルス 感染症	報告数	42	37	4	6	2	1	1	9	2	10	2
	定点あたり	1.20	1.03	0.40	1.00	0.50	0.33	0.33	2.25	2.00	2.50	2.00
咽頭結膜熱	報告数	34	18	3	5	6	2	2				
	定点あたり	0.97	0.50	0.30	0.83	1.50	0.67	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	148	168	20	19	43	33		20	3	22	8
	定点あたり	4.23	4.67	2.00	3.17	10.75	11.00	0.00	5.00	3.00	5.50	8.00
感染性胃腸炎	報告数	531	645	133	114	145	63	64	53	8	53	12
	定点あたり	15.17	17.92	13.30	19.00	36.25	21.00	21.33	13.25	8.00	13.25	12.00
水痘	報告数	147	154	43	31	16	1	7	28		25	3
	定点あたり	4.20	4.28	4.30	5.17	4.00	0.33	2.33	7.00	0.00	6.25	3.00
手足口病	報告数	5	12	4	8							
	定点あたり	0.14	0.33	0.40	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	50	56	24	1	7	1		14	2	1	6
	定点あたり	1.43	1.56	2.40	0.17	1.75	0.33	0.00	3.50	2.00	0.25	6.00
突発性発しん	報告数	23	32	5	7	6	4		3		7	
	定点あたり	0.66	0.89	0.50	1.17	1.50	1.33	0.00	0.75	0.00	1.75	0.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1	1								
	定点あたり	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	63	110	34	3	10	54	2	2		1	4
	定点あたり	1.80	3.06	3.40	0.50	2.50	18.00	0.67	0.50	0.00	0.25	4.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	9	8	6	2							
	定点あたり	1.50	1.33	2.00	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		3			3						
	定点あたり	0.00	0.43	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～7週)

2類感染症	結核	33例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	4例				
4類感染症	つつが虫病	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例(1)
	梅毒	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～7週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	13例(1)
-------	-------------------	--------

()内は今週届出分、再掲